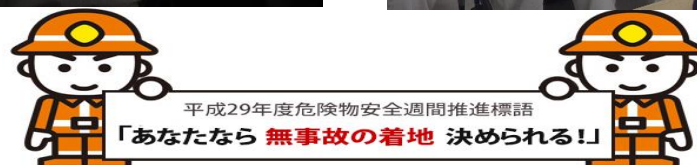


【危険物安全週間】 ～災害を防ぐため、危険物施設の職員を対象に研修を行いました。～

川越地区消防局予防課では、平成29年6月7日（水）、危険物安全週間に伴い管内の危険物施設を保有するオリエンタルエンジニアリング株式会社（川越市芳野台三丁目地内）の災害予防に中心的な役割を担う危険物保安監督者等の職員約40名に研修を行いました。

研修の内容は、「危険物施設の火災危険性」、「最近の火災の動向」等であり、研修を受講したオリエンタルエンジニアリング株式会社の職員は、「危険物の怖さを再認識した。これからは、今まで以上に災害予防に取り組み安全性を高めていきたい。」と話していました。



【危険物安全週間】 ～主な研修内容～

《要約》

01 危険物施設は減っているのに、危険物施設の事故が増えています。

(危険物施設数) 平成6年 56万件 → 平成27年 42万件 ※約4分の3に減っています。

(事故件数) 平成6年 287件 → 平成27年 580件 ※約2倍に

02 危険物施設の火災は、製造所及び一般取扱所で約80%の割合で発生しています。

03 火災による被害を最小限に留めるためには、初期消火に全力を尽くすことが大切です。

04 危険物施設で事故を発見したら、直ちに消防機関へ通報することがとても大切です。

危険物施設での事故を発見してから、消防機関への通報時間は、10分以内が約23%です。

約77%は、10分以上要しています。その中でも、約13%は、60分以上通報に時間を要しています。その事故の内訳として多数を占めるのが、危険物の流出です。「自分たちで何とかしようとせず、すぐに消防機関へ通報をしてください。」